



ごあいさつ	01
事業概況	02
建築TOPICS	03
土木・測量TOPICS	05
財務データ	07
グループ概要	09

日本の建設業をICTで支える、 福井コンピュータグループ。

福井コンピュータグループは、
建築・測量・土木のCAD製品のご提供を通じて、
建設業界全体へのICT(情報通信技術)の普及と
業界の経営効率化に幅広く貢献します。



株主・投資家のみなさまへ

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第37期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)の事業内容などをご報告するにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

私ども福井コンピュータグループは、昭和54年に創業。福井コンピュータ株式会社として、一貫して建設業向け専用CADソフトウェアのメーカーとして、お客様の立場に立った製品開発を心がけ、お客様の業務効率をサポートし、現在の地位を築いてまいりました。平成24年7月には持株会社体制に移行し、建築事業会社3社、土木

福井コンピュータホールディングス株式会社
代表取締役社長

落野 勝



測量事業会社1社、カスタマサポート事業会社1社の各々が独立した経営を進め、グループ全体の経営を推進し、事業の拡大を図っております。

昨年度までは、平成24年12月公表の前中期経営計画に基づき「変革と成長」を推し進め経営基盤を強化してまいりました。今後は、平成28年5月公表の新中期経営計画のとおり、再度「変革と成長」を基本方針に掲げ、「建設業界の3次元化」を目指して当社グループが新たな製品やサービスを提供し、売上やシェア、業量を拡大していくことでグループ全体の成長をさらに加速してまいります。どうか今後とも、福井コンピュータグループをよろしく願い申し上げます。

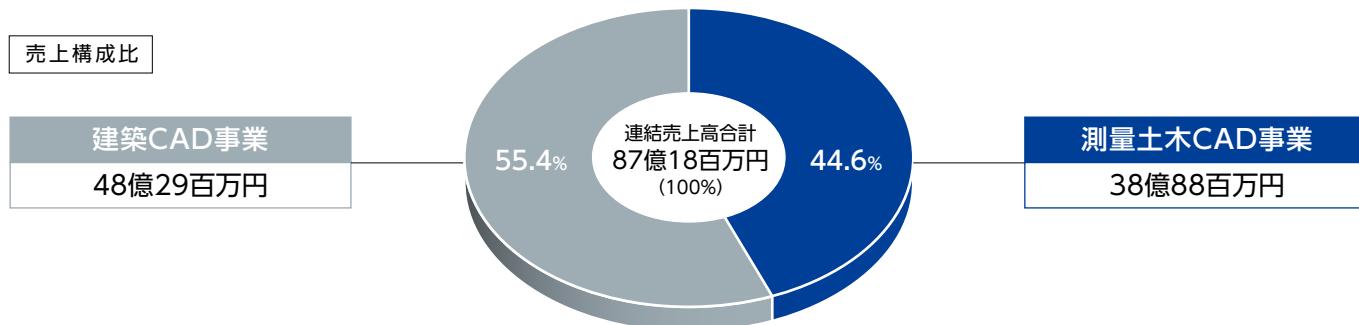
平成28年6月

業績の概況

連結売上高87億18百万円、前年同期比1.4%増

当社グループ(当社及び連結子会社)における当連結会計年度の業績につきましては、売上高8,718百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益2,165百万円(前年同期比11.9%増)、経常利益2,207百万円(前年同期比11.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,482百万円(前年同期比11.7%増)となりました。セグメント別の業績は次のとおりであります。

売上構成比



建築CAD事業

当連結会計年度は、8月中旬以降の株価大幅下落・乱高下、景気指標の下方修正などの弱含みで、住宅業界は戸建住宅が想定外の伸び悩みとなりました。このあおりで、下半期の新規受注にややかげりが見えましたが、2016年1月リリースの「ARCHITREND ZERO Ver.2」のデザインカスプードの強化が住宅計画者のマインドを強く押し上げると高い評価を得て、年度でみると建築CAD事業は前年度を上回る販売実績となりました。

また、全国18カ所のCAD教室「スマートスクール」も好評で、運用支援面での安心感が新規顧客のみならず既存ユーザーのバージョンアップや追加にもつながりました。個別商品では、2015年4月1日施行の改正省エネ基準に対応した「温熱環境計算シミュレーション」が、年間1,000本の出荷となり、2000年の発売以来累計で10,000本を超えました。省エネ住宅・ZEH(ネットゼロエネルギーハウス)に対するビルダーの関心の高さと弊社商品の技術力が相まっての結果と考えられます。上記以外では、当社グループの新たなサービスである「3Dカタログ.com」が住宅業界で話題となり、ARCHITRENDシリーズへの連携の期待感から年度末の売上を押し上げました。この結果、建築CAD事業の売上高は4,829百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益は1,085百万円(前年同期比16.3%増)となりました。

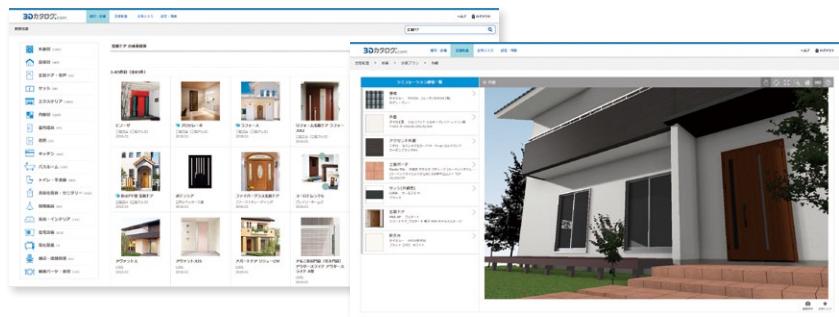
測量土木CAD事業

測量ソフトウェアについては、主力ソフト「BLUETREND XA 2016」は、市場のモチベーションを喚起するような要因も少なく、ユーザー使用環境においては変動の少ない1年となりました。一方では、ドローンや3Dレーザースキャナーの普及が急速に進んでおり、測量業務における観測方法に変化が起っています。取得された点群データを利活用する3D点群処理システム「TREND-POINT」のニーズは拡大しており、地場大手測量会社への導入が急速に進んでいます。

土木ソフトウェアについては、従来より進んでいたCIM(Construction Information Modeling)に続き、2015年11月に国土交通省より発表された建設生産システム全体の生産性向上を目的とした「i-Construction」により、土木業界でも3次元データの活用が急務となってきました。2014年度より積極的に取り組んでいた3次元対応商材である3D点群処理システム「TREND-POINT」と、3D土木施工システム「TREND-CORE」が市場に評価され、大手ゼネコンと地場大手建設会社への導入が急速に進んでいます。2016年度はi-Construction元年となり、今後さらに測量土木業界での3次元データ活用を見据えたシステム導入が進むと予測されます。

この結果、測量土木CAD事業の売上高は3,888百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は1,012百万円(前年同期比12.4%増)となりました。

建築業界の3次元データ標準化を推進する「3Dカタログ.com」を4月に公開。



建材・設備と住まいの3Dシミュレーションサイト

3Dカタログ.com

<https://www.3cata.com>

●「3Dカタログ.com」では、メーカー 101社、約4,500シリーズの製品を収録



(2016年6月現在)

昨年度より準備を進めておりました、建材・設備と住まいの3Dシミュレーションサイト「3Dカタログ.com」について、2016年4月18日よりサービスを開始しました。

「3Dカタログ.com」では、国内の主要な建材・住宅設備機器メーカー101社の協力を得て、約4,500シリーズの製品情報をWEBサイト上に公開。誰でも気軽に3Dシミュレーションを行うことができる”複合型WEBショールーム”というコンセプトのもとサービスを提供しております。サービス開始からの1か月間において、サイト訪問者数は20,000人を超えるなど、建築業界各方面からの関心も非常に高く、今後さらなる利用者の増加を見込んでいます。

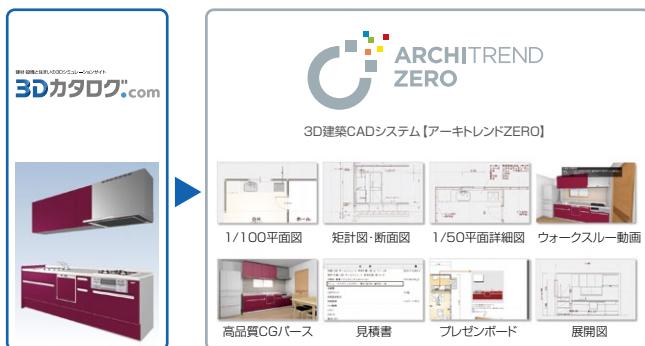
なお、この7月には、主力製品である建築CAD「ARCHITREND ZERO」の最新バージョンがリリースされ、「3Dカタログ.com」との連携サービスを開始いたします。

福井コンピュータグループでは、この「3Dカタログ.com」のリリースを皮切りに、住宅業界をはじめ建設業界全体に向けた、3次元データ活用による革新的なサービス開発に取り組んでまいります。

3D建築CADシステム「ARCHITREND ZERO」での活用

「3Dカタログ.com」でシミュレーションした結果を、設計図面に反映させ、より具体的なプランニングを実現。

サイト上でシミュレーションした建材や設備データを設計図面上に配置することで、CG/パースや各種図面、見積書などに連動し、きめ細かなプランニングを実現します。また、サイト上に公開している建物サンプルデータもCADに取込むことが可能です。(2016年7月リリース予定)



「ARCHITREND ZERO」のプランデータを「3Dカタログ.com」で共有し、WEB上でプラン検討が行えるようになります。

設計中のプランデータを「3Dカタログ.com」にアップロードすることで、施主様はWEB上で立体的にプラン確認ができるようになります。また、建材や設備のコーディネートも行えるため、具体的なイメージづくりが可能になります。(2016年9月リリース予定)



ゲーム業界でも話題のバーチャルリアリティ(VR)システム連携を実現

圧倒的な臨場感を体験できるバーチャル住空間を実現。

「ARCHITREND ZERO」で作成されたプランデータを利用し、オキュラスリフトやHTC Viveなどのヘッドマウントディスプレイを装着することで、まるでその場に立っているかのように生活空間を体験することが可能になります。「3Dカタログ.com」と合わせて活用することで、1棟1棟プランや仕様が異なる住宅のプレゼンテーションにおいてもリアリティのある提案が可能になります。

(2016年7月リリース予定)



“i-Construction”によるICT技術を活用した建設施工の実現を強力に支援します。

“i-Construction”により、建設現場が大きく変わろうとしています。例えば、昨今あらゆる分野で急速に普及している「ドローン」を建設現場において活用することで、起工測量や出来形データ収集の大幅な時間短縮が可能となります。将来的には全体として技能労働者の1人あたりの生産性が5割向上する可能性があるかとされています。“i-Construction”における調査測量から設計・施工・検査・維持管理までの全プロセスで一貫して使用する“3次元データ”は、まさにICT全面導入の最大のポイントであり、このデータ作成を支援するのが、福井コンピュータのソリューション群です。今後の建設現場における変革のスピードはますます加速すると予測されます。建設業界が目指す安全で生産性の高い施工の実現と省力化・無人化のため、福井コンピュータはICTを活用した様々な新技術を今後もご提案して参ります。

“i-Construction”とは

2015年11月、国土交通省が建設現場のICT技術活用による生産性向上を目的とした新基準“i-Construction”を導入すると表明しました。2016年3月30日に公開された「ICT技術の全面的な活用(土工)」の実施方針では、現在の紙図面を前提とした基準類を変更し、3次元データによる15の新基準とICT土工の活用に必要な経費を計上するための新たな積算基準が導入されました。国土交通省は2020年にすべての案件での実施を目指しています。



効率的な建設施工のデータ連携を実現させる福井コンピュータソリューションマップ

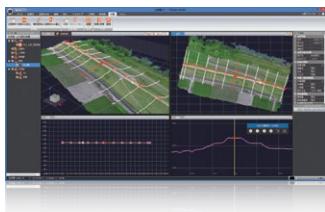


※IoT(Internet of Things)とは、様々なモノにセンサーなどが付され、ネットワークにつながる状態のこと。

“i-Construction”最大のポイント「3次元データ運用」を支援する福井コンピュータソリューション群



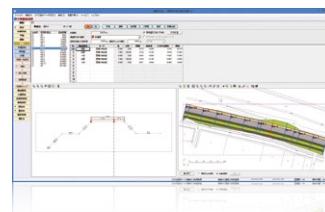
3D点群処理システム【トレンドポイント】



従来の地上測量に変わり、ドローンを使用した写真測量から取得した点群データやレーザースキャナから取得した点群データの活用が建設業界で急速に普及しています。トレンドポイントは大規模な点群データから簡単に距離・面積などの計測が行えます。さらに災害現場における崩落箇所の計測や概略ボリュームの算出にも活用できます。



土木施工管理システム【エクストレンド武蔵】



工事の発注図をもとにした“3次元設計データ”の作成を強力に支援します。“i-Construction”への活用はもちろん、土木施工に必要なあらゆるデータ作成と管理が可能なオールインワンシステムです。発売より12年、ロングセラーとなったエクストレンド武蔵。官公庁専用システムも販売しており、全国で約半数の都道府県が採用するなど、圧倒的な信頼を得ています。



CIMコミュニケーションシステム【トレンドコア】



施工段階における現場の3Dモデル作成により、建設現場・施工手順を“見える化”するトレンドコア。地元住民への工事状況説明を手助けするビューアデータの作成もできます。国土交通省が推進するCIMおよび“i-Construction”を高度に支援いたします。



現場端末システム【クロスフィールド】



情報化施工の一つであるTS出来形管理の支援とCAD機能を搭載したポータブルシステムです。エクストレンド武蔵で作成した3次元設計データをクロスフィールドに取り込むことにより、施工現場でのトータルステーションを使った出来形計測や現場の丁張り設置などが簡単に行えます。

財務データ〈連結財務諸表〉

連結貸借対照表(要旨)

単位:百万円

科 目	前 期 (H27.3)	当 期 (H28.3)	増 減
資産の部			
流動資産	8,422	9,732	1,309
現金及び預金	6,088	7,559	1,471
受取手形及び売掛金	1,700	1,537	△ 163
その他	633	635	1
固定資産	4,789	4,919	130
有形固定資産	2,695	2,628	△ 66
無形固定資産	26	34	7
投資その他の資産	2,067	2,256	189
資産合計	13,211	14,651	1,439
負債の部			
流動負債	3,452	3,511	59
固定負債	280	341	60
負債合計	3,733	3,852	119
純資産の部			
株主資本	8,824	9,962	1,137
その他の包括利益累計額	653	836	182
純資産合計	9,478	10,798	1,320
負債純資産合計	13,211	14,651	1,439

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位:百万円

科 目	前 期 (H27.3)	当 期 (H28.3)	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,928	1,848	△ 80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6	△ 32	△ 26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 287	△ 344	△ 57
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
現金及び現金同等物の増加額(△は減少額)	1,635	1,471	△ 163
現金及び現金同等物の期首残高	4,452	6,088	1,635
現金及び現金同等物の期末残高	6,088	7,559	1,471

連結損益計算書(要旨)

単位:百万円

科 目	前 期 (H27.3)	当 期 (H28.3)	増 減
売上高	8,600	8,718	117
売上原価	1,865	1,669	△ 195
売上総利益	6,735	7,048	313
販売費及び一般管理費	4,799	4,883	83
営業利益	1,936	2,165	229
営業外収益	53	41	△ 11
経常利益	1,989	2,207	218
特別利益	12	—	△ 12
税金等調整前当期純利益	2,001	2,207	205
法人税等	675	724	49
当期純利益	1,326	1,482	155
親会社株主に帰属する当期純利益	1,326	1,482	155

連結包括利益計算書(要旨)

単位:百万円

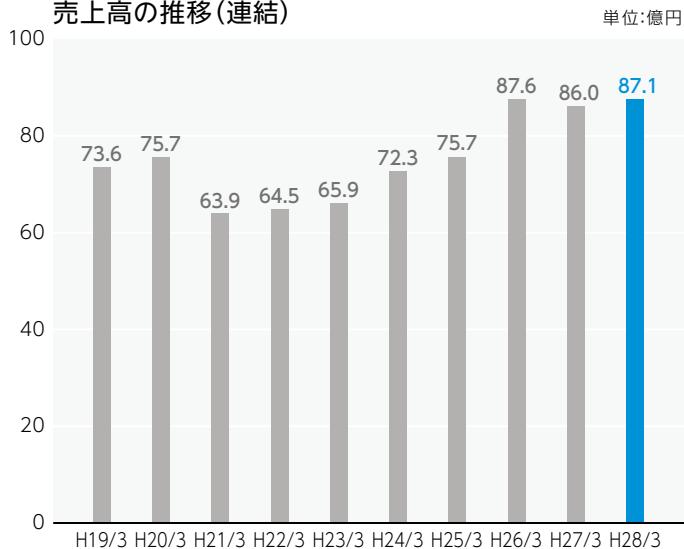
科 目	前 期 (H27.3)	当 期 (H28.3)	増 減
少数株主損益調整前当期純利益	1,326	1,482	155
その他の包括利益	196	182	△ 13
包括利益	1,523	1,664	141

平成29年3月期 業績予想(連結)

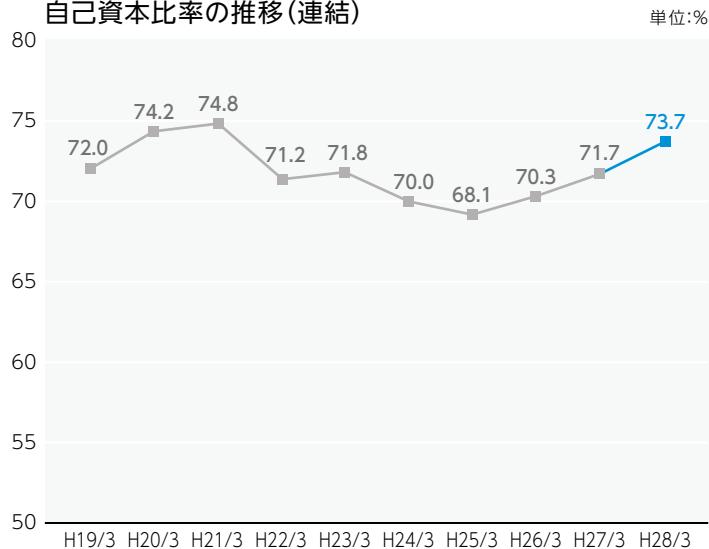
単位:百万円

科 目	平成28年3月	平成29年3月 見込	増減率
売上高	8,718	9,000	3.2%
営業利益	2,165	2,370	9.4%
経常利益	2,207	2,400	8.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,482	1,530	3.2%
1株当たり当期純利益(円)	64.53	66.59	
1株当たり配当金(円)	20.00	20.00	

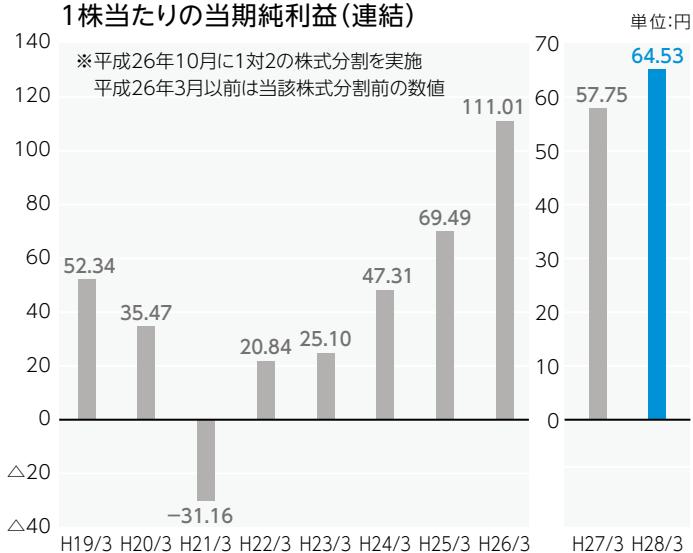
売上高の推移(連結)



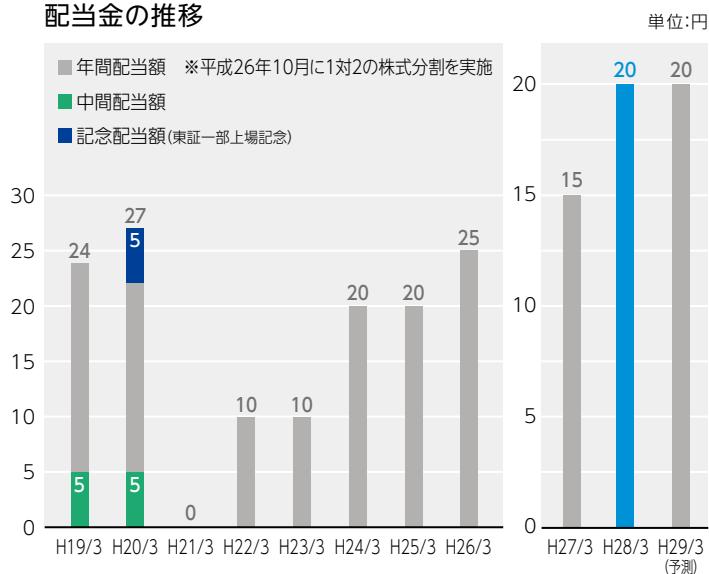
自己資本比率の推移(連結)



1株当たりの当期純利益(連結)



配当金の推移



グループ会社概要

福井コンピュータホールディングス株式会社

本 社	福井県福井市高木中央1-2501 〒910-8521 TEL. (0776) 53-9200 (代)
設 立	昭和54 (1979) 年12月17日
資 本 金	16億3,170万円
事 業 内 容	子会社の運営管理等

代 表 者	代表取締役社長 路野 勝
役 員 構 成	取 締 役 会 長 堀 誠 (社外取締役)
	取 締 役 林 治克 片岡 克之 生田 晴来
	社 外 取 締 役 堀 誠一郎 森田 勝憲
	常 勤 監 査 役 小林 家次
	監 査 役 西川 承 伊賀 弘
	常 務 執 行 役 員 杉田 直

福井コンピュータアーキテクト株式会社

本 社	福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6 〒910-0297 TEL. (0776) 67-8850 (代)
設 立	平成24 (2012) 年7月2日
資 本 金	1,000万円
事 業 内 容	建築CADソフトウェアの開発 及び販売

代 表 者	代表取締役社長 林 治克
役 員 構 成	常 務 取 締 役 谷口 博幸
	取 締 役 佐藤 浩一 路野 勝
	監 査 役 片岡 克之
	執 行 役 員 塚本 卯郎 下河 幸栄 稲田 英二

福井コンピュータ株式会社

本 社	福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6 〒910-0297 TEL. (0776) 67-8860 (代)
設 立	平成24 (2012) 年7月2日
資 本 金	1,000万円
事 業 内 容	測量、土木CADソフトウェアの開発 及び販売

代 表 者	代表取締役社長 田辺 竜太
役 員 構 成	取 締 役 路野 勝 生田 晴来
	監 査 役 片岡 克之
	執 行 役 員 橋本 彰

福井コンピュータドットコム株式会社

本 社 福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6
〒910-0297
TEL. (0776) 67-8890 (代)

設 立 平成27 (2015) 年12月25日

資 本 金 1,000万円

事 業 内 容 3Dカタログサイトの運営管理

代 表 者 代表取締役社長 野坂 寅輝

役 員 構 成 取 締 役 露野 勝
林 治克
監 査 役 生田 晴来

福井コンピュータスマート株式会社

本 社 福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6
〒910-0297
TEL. (0776) 67-8880 (代)

設 立 平成25 (2013) 年7月1日

資 本 金 1,000万円

事 業 内 容 コンピュータソフトウェア操作指導
の請負

代 表 者 代表取締役社長 坪田 信

役 員 構 成 取 締 役 露野 勝
生田 晴来
監 査 役 片岡 克之

株式会社ザ・システム

本 社 福井県福井市高木中央1-2501
〒910-8521
TEL.(0776)53-9250 (代)

設 立 昭和51 (1976) 年3月26日

資 本 金 5,000万円

事 業 内 容 建築用パッケージソフトウェアの
開発及び販売

代 表 者 代表取締役社長 松井 保

役 員 構 成 取 締 役 露野 勝
生田 晴来
監 査 役 片岡 克之

そ の 他

従 業 員 数 451名 (グループ全体正社員)

営 業 拠 点

- 北日本営業所 (宮城) 札幌オフィス 盛岡オフィス
- 北関東営業所 (埼玉) 水戸オフィス 新潟オフィス 長野オフィス 宇都宮オフィス 高崎オフィス
- 関東営業所 (東京) 横浜オフィス 千葉オフィス
- 中部営業所 (愛知) 岐阜オフィス 静岡オフィス 福井オフィス
- 関西営業所 (大阪) 京都オフィス 神戸オフィス
- 中四国営業所 (広島) 岡山オフィス 山口オフィス 高松オフィス 松山オフィス
- 九州営業所 (福岡) 熊本オフィス 大分オフィス 宮崎オフィス 鹿児島オフィス 沖縄オフィス
- 銀座ショールーム (東京) ■ 梅田ショールーム (大阪)

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会・期末配当：毎年3月31日／中間配当：毎年9月30日
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先（電話照会先） 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

■ 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定しない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

このIR資料の内容は、インターネットでもご覧いただけます。

www.fukuicompu.co.jp